

◎情報交換・意見交流（熟議体験）

「学校と地域の連携・協働」について考えようというテーマで熟議体験を行った。連携・協働における課題、目指すべき姿について、3つのグループに分かれて熟議した。その後各グループで出された意見について、全体交流を行った。

【課題】

- ・学校統合（校区の拡大）により、地域活動ができない
- ・各地域での学習の取り組みをどのようにして広げていくか
- ・学校統合があり地域が一つになれない
- ・地域でのつながりが減少している
- ・校区が広がったことによる文化の違いがあり、何を選んでいけばよいのか
- ・関わりの多い教職員と少ない教職員がいる
- ・子どもへの声かけの仕方がやりづらい
- ・自治会を脱退する人が増え、地域行事が減少し、参加者も減少している



【目指すべき姿】

- ・子どもから進んで地域の方へ挨拶しする顔見知りの関係
- ・五條市としてのコミュニティ・スクールの方向性を示し、学校と地域が共有している
- ・学校がどのような支援が必要か発信している
- ・統合した学校の子どもたちが一つになれるように、PTAでお祭りなどをして交流の場をつくる
- ・子どもたち、大人たちの助け合いができる場所をみせてあげたい
- ・小中での交流を通して、地域性を育てている
- ・地域での交流の場として、お年寄りとの交流会などをする